

JA全農 WEEKLY

2面

「たまごニコニコ大作戦!! 日本縦断チャリの旅」に参画
 “1日たまご2個”をアピール!

8面

JAタウンのサイトリニューアル
 商品検索機能の強化、商品レビューを新設



広島県本部の実践型研修農場「チャレンジファーム 広島・三原農場」でトモの栽培実習に励む1期生の吉本さん(5面)



千葉県農協A.T.A.協議会50周年記念式典で表彰を受けた歴代ATA会長ら(3面)



広島県の宮島で卵の正しい知識や魅力を消費者に伝え消費拡大を呼び掛けた参加者(2面)

2 段ボール製マルシェキット発売
 (生産資材部・フードマーケット事業部)

3 千葉県農協A.T.A協議会が
 50周年記念式典(千葉県本部)

4 JAズームイン(JA利根沼田)

5 県本部だより(広島県本部)

6 JA全農×JR西日本 みのりみのるマルシェ
 JR西日本の主要駅へ拡大
 (フードマーケット事業部・耕種総合対策部)

7 畜産情勢(畜産総合対策部)

8 JAタウンショップ紹介
 越前わかさ味浪漫(JA福井県経済連)

段ボール製マルシェキットを発売

軽量・丈夫・組み立てや片付けが簡単

生産資材部・フードマーケット事業部



軽量・丈夫・簡単な
段ボール製マルシェキット



店頭での使用例

「マルシェキット」は、軽量で丈夫、組み立て・片付けが簡易、コンパクトに折りたたため、持ち運びがしやすい什器で、農産物のPR・即売などのイベントに広くご活用いただけます。また、7月6日までのご注文に限り、発売記念キャンペーン価格（通常価格の約1割引

全農は平成23年から「みのりみのるマルシェ」を延べ140回開催しており、そこで得た販売ノウハウと、段ボールメーカーであるレンゴー(株)の加工技術力を融合して、マルシェキット(段ボール製の組み立て式什器)を共同開発し、6月4日から注文受付を開始しました。

商品の購入に関するお問い合わせ
JA全農 生産資材部
包装資材課 棚橋、田中まで
Tel:03-6271-8322

商品の活用事例に関するお問い合わせ
JA全農 フードマーケット事業部
リテール事業課 石原、奥本まで
Tel:03-6271-8156

き)で販売します。全農では、「マルシェキット」を通じて近年増加しているJAや生産者による農産物イベント開催を支援します。

「1日たまご2個」をアピール!

「たまごニコニコ大作戦!! 日本縦断チャリの旅」に参画

JA全農たまご(株)・広島県本部



名古屋でゴールした「たまごニコニコ大作戦!! 日本縦断チャリの旅」



東京出発地点のスカイツリーそらまち広場で「しんたまご」「とくとま」を販売

「たまごニコニコ大作戦!! 日本縦断チャリの旅」は、鶏卵業界が一体となって、コレステロールに起因する「卵は1日1個まで」という誤解を払拭することを目的に、各地で鶏卵の良さを訴えながら自転車での全国をリレーする企画です。JA全農たまごは、近畿地区で社員2人が走者を務め45キロを走りました。中国地区では広島県本部の職員2人が2日間にわたり計100キロを走破しました。

出発地点の東京都墨田区の東京スカイツリーそらまち広場では「たまごフェスティバル」が同時開催され、JA全農たまごのNB商品である「しんたまご」と「とくとま」を来場者へPRし、チャリティー販売をしました。全農グループは、鶏卵業界の発展のために今後も生産者や販売先と協力して、国産鶏卵の消費拡大に取り組んでいきます。

JA全農たまご株式会社と広島県本部は、鶏卵の消費拡大活動の一環として日本卵業協会が主催する「たまごニコニコ大作戦!! 日本縦断チャリの旅」に参画し5月31日、名古屋でこの企画のゴールを迎えました。

千葉県農協A・T・A協議会が50周年記念式典

千葉県の営農指導を支え半世紀

千葉県本部は5月28日、千葉市のホテルで千葉県農協A・T・A協議会（ATA協議会）と共催で50周年記念式典を開きました。会員やJAの代表など、約130人が出席しました。歴代のATA協議会の会長を表彰し、50年のあゆみを振り返りました。

【千葉県本部】

全農営農・技術センター（平塚）では、営農指導員育成の登竜门的な講習会である「施肥診断技術者養成講習会」、「防除指導員養成講習会」が現在継続実施されています。これらの講習会を受講してその場で終わってしまうことがないように、受

講した若手営農指導員の施肥・防除技術に関する知識のレベルアップと営農指導員同士の相互連携を目的に1967年に「千葉県農協施肥・防除指導員連絡協議会」が発足し、活動してきました。

そして、1989年に施肥・防除技術だけではなく、総合的な営農指導を行うことを念頭に、「千葉県農協A・T・A協議会」に改称をしました。A・T・AとはAgricultural（農業の）、Technical（技術上の）、Advertiser（相談相手）の略です。

ATA協議会は、発足から50年経過しても活発に活動を継続しており、平成29年度は19JA、142人の会員数となっています。

今も県下JAではATA協議会を卒業した営農指導員がJA事業の中心で活躍をしています。こうした研

修後のフォロー体制がとても重要です。また、政府は「農協改革集中推進期間」を平成31年5月までと定め、改革の成果を示すよう求めています。この課題に対するATA協議会の役割はますます重要となっています。



表彰された歴代会長と運営委員会の林茂壽会長（手前右）と間淵誠一副会長（同左）



林運営委員会会長④から表彰を受ける歴代ATA会長

技術だけではなく、総合的な営農指導を行うことを念頭に、「千葉県農協A・T・A協議会」に改称をしました。A・T・AとはAgricultural（農業の）、Technical（技術上の）、Advertiser（相談相手）の略です。

ATA協議会は、発足から50年経過しても活発に活動を継続しており、平成29年度は19JA、142人の会員数となっています。

今も県下JAではATA協議会を卒業した営農指導員がJA事業の中心で活躍をしています。こうした研



農地で土壌の物理性を検討する営農指導員ら



アスパラガスの新栽培法を確認する営農指導員ら



女性目線を生かした直売所運営

農業と地域経済つなぐ架け橋

JA利根沼田は群馬県の北部に位置し、レタス・ホウレンソウ・トマト・ダイコンなどの夏秋野菜やコ

ンニヤクを主体とした大規模畑作経営、リンゴを中心にブドウ・サクランボ・ブルーベリーなどの観光果樹

JA利根沼田東部支店に併設された農産物直売所「食彩の森」

店頭に並ぶ旬のレタスと店長の手作りPOP



経営、地域の気象条件を生かした多彩な農業経営が展開されています。

食のイベントも開きJAを身近な存在に

JA利根沼田は、平成25年4月に沼田市久屋原町の東部支店に隣接した直売所「食彩の森」をオープンしました。組合員の販売チャンネルの拡大による所得向上と、農業生産と地域経済をつなぐプラットフォームとして、地域で暮らすすべての皆さんに利用していただくことを目指しています。収穫したばかりのおいしい旬の味覚や食に関するイベントなどを開催し、JAを身近な存在として感じてもらえるように努めています。

JA利根沼田 (群馬県)



「食彩の森」スタッフと星野店長④

生産者と情報交換を密に女性目線の細やかな対応

「食彩の森」は、星野店長をはじめとする女性スタッフ8人で運営しています。スタッフは、何がいつごろ入荷するか、食べ方や味の特徴など、毎日のように生産者と情報交換を行います。お客さまが何を目的に

概要	平成30年2月28日 現在
正組合員数	7142人
准組合員数	7074人
職員数	315人
販売品取扱高	129億5千万円
購買品取扱高	65億9千万円
貯金残高	812億9千万円
長期共済保有高	3238億8千万円
主な農畜産物	コンニャク、レタス、 トマト、ホウレンソウ、 生乳、肉豚、肉牛

直売所に来るのかを検討し、のぼり旗や陳列方法、ポップを変え、その日のお勧め商品や調理方法をお客さまにお伝えしています。予約注文やお取り置きにも積極的に対応し、リピーターを増やしています。今後も管内の豊かな自然で育まれた農産物を県内外の消費者にPRし、地域農業の活性化に取り組んでいきます。

JA利根沼田 農産物直売所 「食彩の森」

住所
群馬県沼田市久屋原町383-10

電話 0278-25-4343

営業時間
4月～11月:午前 9時～午後6時
12月～ 3月:午前10時～午後6時

定休日 年末年始

だより 県本部

広島県本部



J A や行政と連携した 実践型研修農場を開設 担い手育成と産地振興の基点に

広島県本部は、J A 三原、三原市役所と連携し平成29年10月、三原市高坂町に実

践型研修農場「チャレンジファーム広島・三原農場」を開設しました。研修農場で

は、新規就農希望の研修生

に模擬経営を含む2年間の実践型研修を行うことが特徴で、

県域の重点品目の一つであるトマトをメインに栽培し、冬にはワケギやホウレンソウを栽培する予定です。研修施設は、低コスト型

のパイプハウス4棟と農業ICTなどの導入も想定した鉄骨連棟ハウス2棟、露地圃場の計5734平方メートルの圃場と事務所・倉庫を備えています。

2年間で農業の基礎から 模擬経営までを習得

農場での研修は農業に関する基礎を学ぶところから、実際に就農した時と同レベルの規模で行う模擬経営研修までを2年かけて行います。初年度は、広島県本部の営農拠点のJ A 西日本営農技術センターも活用し、生産技術、販売、経営に関する基本を習得します。2年目には同農場を活用した経営

辺での就農を計画。農地や施設、機械、住居などの支援をJ A、全農と行政が行います。

今年4月から、1期生として広島市出身の吉本直樹さん(32)を受け入れています。吉本さんは、以前から農業に興味があったもののきつかけがなく始めることができませんでしたが、「模擬経営研修があることが応募の決め手になりました。いきなり独立するより安心だと考えました」と同研修農場を選んだ理由を話します。「農場の管理もしていくので責任感を持って勉強し、今後に生かしていきたい」と意気込んでいます。

就農へ農地確保に取り組み 2カ所の研修農場新設予定

広島県本部は、産地拡大と研修生の就農に向けた農地の確保に取り組んでいます。また、同農場の他に2カ所の研修農場を新設することを予定しており、県域の重点品目の産地化・新規就農者支援を進めていきます。



吉本の1期生の実習栽培のトマトに励む本さん



実践型研修農場のハウスと内部



計画の下、定植・管理・収穫を自らの責任で行う模擬経営研修に移行します。

研修終了後は、同農場のある三原市高坂町周

多くのお客さまが訪れた
みのりみのるマルシェ「大阪の実り」



生産者と生活者が互いを想い
食と農をつうじて共感する・・・
みのりみのるプロジェクトは
そんな場や機会を提案します。

JA全農×JR西日本 みのりみのるマルシェ JR西日本の主要駅へ拡大

JA全農「みのりみのるプロジェクト」とJR西日本は、平成27年度に締結した「地域振興支援に関する連携協定書」に基づき大阪市のJR大阪駅で「みのりみのるマルシェ」を継続開催し、生産者と消費者をつなぐとともに行

政と連携したIターン・Uターン促進に取り組んできました。4年目となる今年度は、JR大阪駅に加え、JR西日本管内の主要駅へ、この取り組みを拡大する計画です。

【フードマーケット事業部、耕種総合対策部】



あくが少なく果実のようなジューシーさが魅力の「泉州水なす」

が実は全国屈指の収穫量を誇り持たれないかもしれません。大阪でブドウ栽培のイメージはあまり聞かれないかもしれませんが、大阪でブドウ栽培のイメージはあまり聞かれないかもしれません。

伝統野菜や特産ずらり

今回のマルシェでは、江戸時代から栽培が続く、あくが少なく果実のようなジューシーさが魅力の「泉州水なす」、肉質が柔らかくて焼きなすや揚げなすといった幅広い使い方ができる別名「千両なす」とも呼ばれる「大阪なす」、大阪でブドウ栽培のイメージはあまり聞かれないかもしれませんが、大阪でブドウ栽培のイメージはあまり聞かれないかもしれません。

平成30年度第1弾「大阪の実り」は、大阪府南部の3JA（JA大阪泉州、JAいずみの、JA大阪南）が出席し、地元野菜の旬な食べ方を紹介するとともに、アトリウム広場に設置されている大型モニター「O-Vision」に地域の魅力や生産者のメッセージを放映し、地元の農産物をPRしました。

新規就農へ情報提供も

また、地域へのIターン・Uターンを支援する取り組みとして大阪府の相談窓口を設置し、新規就農に関する情報提供を行いました。

今回は7月7～8日に「和歌山の実り」、7月21～22日に「加賀・能登の実り」を開催予定です。今年も10回にわたって各県・各JAによるマルシェを開催します。旬な農産物を味わいに、ぜひともみのりみのるマルシェにお越しください。

[畜産情勢]

(畜産総合対策部)



牛肉

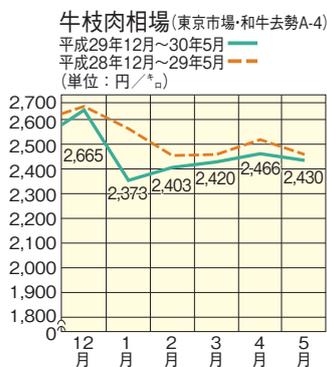
やや弱含みで推移

5月の成牛と畜頭数は、速報値で約8万1千頭(前年比101.2%)と微増となりました。

5月の東京市場枝肉卸売価格は速報値で、和牛去勢A5が2773円(前年比98.5%)、和牛去勢A4が2430円(同99.2%)、和牛去勢A3が2141円(同98.1%)、交雑牛B3が1504円(同102.2%)でした。

農畜産業振興機構の6月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が約3万4千頭(前年比99.0%)、交雑牛が約1万9千頭(同97.3%)、乳用種が約2万7千頭(同95.8%)で、全体では約8万頭(同97.4%)と予測しています。

5月は10日を過ぎた頃から、相場はやや軟化しており、6月は不需求期でもあることから、引き続きやや弱含みでの推移が見込まれます。7月は中旬以降の盆休み向け需要による相場上昇に期待したいところです。



豚肉

5月並みかやや下回る

5月の全国と畜頭数は、速報値で約134万頭、前年同比98.6%でした。

5月の東京食肉市場枝肉相場は速報値で、620円/kg(前年比109.7%、前月比131.1%)となり、月を通して相場が高値で推移しました。5月は出荷頭数が少なかったことに加え、ここ数カ月枝肉相場が比較的安値で安定していたため、量販店を中心に国産豚肉の調達を計画していたところも多く、想定以上の高値で推移しました。

農畜産業振興機構の6月出荷予測頭数は約127万頭(前年比96.9%)と、前年同月をやや下回ると予測しています。

6月についても前月に引き続き国産豚の出荷が少ない状況が見込まれますが、枝肉相場ほど末端価格は上がっていない現状に加え、6月、7月は輸入豚肉の売り場を増やす量販店も見受けられることから、相場はほぼ5月並みかやや下回るものと思われます。



鶏肉

もも 下げ基調で570円

5月の平均相場は、もも肉585円/kg(前月比23円下げ)・むね肉282円/kg(同13円下げ)で、正肉合計で867円/kgと前月比36円下げ、前年比で115円の大幅下げとなりました。

もも肉は、行楽需要はあったものの、末端販売の緩みを背景に月初め597円から月末579円と、月を通してギリ安となりました。むね肉もサラダチキンなどの需要はあるものの、ブラジルやタイ産の安い輸入鶏肉の出回りの影響もあり、ゴールデンウィーク明けから下げ基調が進み、月初め294円から月末275円と昨年2月以来の270円台となりました。

例年、梅雨時期は下げ基調で推移することから、6月のもも肉は月平均で570円と予測します。また、むね肉はサラダチキンなどの需要が引き続きあるためもちあい圏内の280円と予測します。



鶏卵

昨年より低い水準で推移

5月の東京相場の月間平均は、Mサイズ基準値165円(前年比△51円)となりました。

近年の積極的な増産により、供給量は大幅に増大する一方で、堅調に推移していた需要が追いつかない状況が続いたことから、相場も5年ぶりの低水準となりました(平成25年5月は164円)。

テーブルエッグは堅調な荷動きでしたが、業務筋については大型連休中の休業に加えて、連休明けの販売不振により、業務筋向けに出荷している産地を中心に在庫が増加しました。加工筋については、在庫水準が高く、スポット購入の動きはほとんど見られない状況が続きました。

今後は、成鶏更新・空舎延長事業発動の影響により、一定期間は供給量が減少傾向に転じることが予測できますが、梅雨に入り不需求期を迎えることから、引き続き相場も昨年より低い水準で推移することが考えられます。



JA TOWN RENEWAL

JAタウンリニューアル

サイトデザインを一新し

商品検索機能の強化

商品レビュー

を新設

全農が運営する国産農畜産物販売のオンラインショップ「JAタウン」は、伸張するEC(電子商取引)市場を背景に顧客・売り上げ拡大を図るため、5月31日に大幅リニューアルを実施いたしました。サイトデザインを一新し、商品検索機能の強化、商品レビューの新設なども行い、お客さまがより見やすく、より使いやすい環境を提供しています。【フードマーケット事業部】



リニューアルしたJAタウンのトップページ

JAタウンは、「もっと近くに美味しいニッポン」をテーマに、全国の農協(JA)・生産者などが、各産地で育まれた農畜産物や特産品を、インター

ネットを通じて消費者のみなさまに直接お届けし、好評を得ています。

リニューアルに伴い、セールも開催しています。また、この時期にお奨め

のギフト商品も多数取りそろえておりますので、使い勝手の良くなったJAタウンをぜひご利用ください。

※出店をご希望されるJAは、JAタウン事務局までお問合せください。TEL 03-6271-8157 担当:井村まで



食と農のWEBマガジン

Apron エプロン

Web限定の「レシピ検索」「菜園づくり」etc ぜひご覧ください!

Webマガジンは はこちらから

Apron Web

検索

<https://apron-web.jp/>



JAタウン ショップ紹介

JAタウン |

検索 クリック

越前わかさ味浪漫 (JA福井県経済連)



JAタウンは はこちらから



極甘とうもろこし「ドルチェドーロ」 (5*、約15本入り)……4434円

福井県の「越前わかさ味浪漫」ショップより、高糖度のスイートコーン「ドルチェドーロ」のご紹介です。

イタリア語でドルチェとは「甘い、優しい」、料理用語では「デザート」を表し、ドーロとは「黄金の」という意味で、ドルチェドーロは「黄金のデザート」を意味します♪

大きさは1つ300~330gほどで、粒皮が柔らかく、食味が良いことが特長です。糖度は20度前後!! まるでフルーツのような食感と甘みのトウモロコシです。この機会にぜひ、ご賞味ください。

なお、ご紹介した商品は、6/29(金)まで、FAXでもご注文を承ります(ご自宅宛代金引換のみ)。

【ご注文方法】①商品名、規格、数量②郵便番号③住所④氏名⑤電話番号⑥FAX番号をご記入のうえ、FAX番号03-5218-2517までご送信ください。商品代金のほか、クール代、送料が必要となります。

JA全農のインターネット ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>

ショッピングモール ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。